

病防第31号
令和元年8月15日

各関係機関の長 様
(農政担当)

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表したの、指導上の参考にしてください。

記

令和元年度病虫害発生予察注意報第2号
(果樹カメムシ類)

令和元年度病虫害発生予察注意報第2号

令和元年8月15日
岐 阜 県

作物名 果樹(モモ、リンゴ等)

病虫害名 果樹カメムシ類(主にクサギカメムシ)

- 1 発生地域 飛騨地域
- 2 発生時期 8月中旬以降
- 3 発生程度 多い
- 4 予報の根拠
 - (1) 高山市国府町に設置した予察灯におけるクサギカメムシの誘殺数が7月5半旬から急増した。本虫の5月1半旬～8月1半旬の累計誘殺数は696頭と平年(264頭)の約2.6倍多い。
 - (2) 果樹園では、成虫の飛来が認められている。
 - (3) 名古屋地方気象台の1か月予報(8月8日発表)では、気温は平年より高いと予想されており、本虫の活動に好適な条件となる。
- 5 防除上の注意事項
 - (1) 被害の発生には地域差や園地差があるので、園内へ飛来を確認したら防除を実施する。なお、薬剤散布は夕方か早朝に行うと効果的である。
 - (2) 果樹カメムシ類の飛来は気温及び湿度が高く、風の弱い日に多くなるので注意する。
 - (3) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報を参照し、適正に使用する。
(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm 農林水産消費安全技術センター)
また、防除にあたっては、周辺環境、気象条件等に注意し、薬剤の飛散防止に努める。

— 参考資料 —

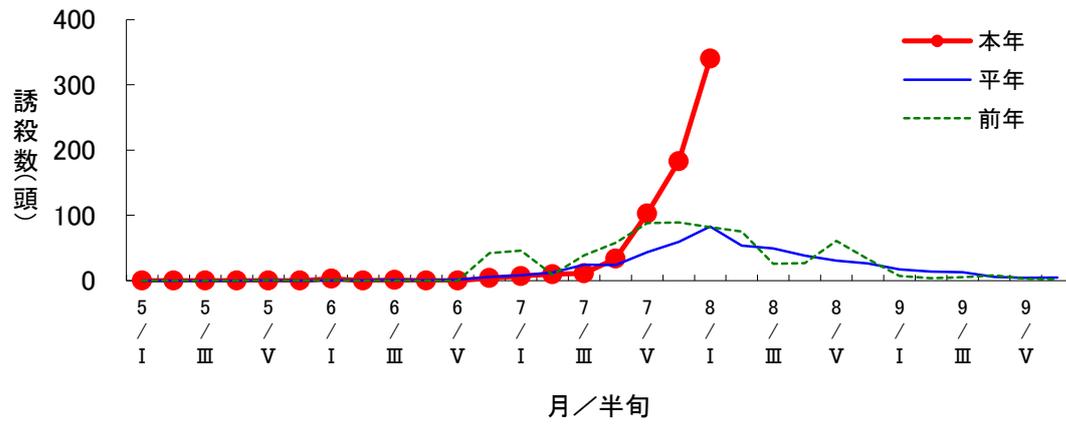


図 予察灯によるクサギカメムシ誘殺数の推移(高山市国府町)